

「福井県母子寡婦福祉指導者研究集会」を開催

日 時：令和5年6月18日（日）12時40分

会 場：坂井市いきいきプラザ霞の郷

参加者：109名



この研究集会は、ひとり親家庭や寡婦の自立と子どもの健全な育成、さらに福祉の向上を目指し毎年開催しています。今年は福井フェニックスロータリークラブ会長 星野幸博 様 川上賢正 様 大橋浩志 様 県健康福祉部 児童家庭課長 広部真寿美 様を来賓としてお迎えしました。「母に幸あれ」の斉唱のあと、平等会長のあいさつと県児童家庭課長 廣部様のご祝辞があり、感謝状贈呈式を行いました。当会に多大な支援をしていただいた福井フェニックスロータリークラブ様、株式会社ヤスサキ様に平等会長から感謝状を贈呈しました。



福井フェニックスロータリークラブ様には今年高校に入学する生徒22名に制服をいただき、生徒たちは希望をもって新たなスタートを切ることができました。

株式会社ヤスサキ様には女性用衣類など900余点をいただきました。各市町の役員をとおしてひとり親家庭に配布されることになっています。ご支援誠にありがとうございました。

開会式に続いて県健康福祉部児童家庭課主事 伊藤佳穂 様からひとり親に対する国の制度改正、物価高騰対策および県のひとり親支援制度などの行政の説明がありました。

その後分科会に分かれ活発に意見交換が行われました。

第1分科会の母子部では「こんな制度を使ってみました」をテーマに、奨学金など子どもの学習に関する支援についての意見のほか情報を得る機会など活発な議論が交わされました。

第2分科会の若年寡婦部では「各地区総会どんなかな」をテーマに、総会にリモートで参加したなど活発に意見交換が行われていました。

第3分科会の寡婦部では「寡婦のための制度は」をテーマに、要望や希望などの意見交換が行われていました。

各分科会で議論した内容は全体会で報告され、議論されました。

閉会式では、坂井市母子連母子部長の決議文朗読によって要望事項、申し合わせ事項が決議されました。

最後に「生き抜く白百合」斉唱をし、副会長の閉会のことばで閉会しました

